

## 新年度が始まりました

新型コロナウイルスの感染が拡大した令和2年以降、学校行事の縮小が続いていましたが、5月8日には新型コロナウイルスの感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられることになり、感染対策が緩和される中、学校行事や授業がコロナ禍前とほぼ同様に実施されるようになりました。各学校でも始業式や入学式などが4年前に近い形で実施されたのではないのでしょうか。同様に、各学校の学校運営協議会や地域教育協議会等の会議もスタートしました。



## 山陽小野田市の地域連携教育推進の重点取組事項

令和5年度は次の3点を重点取組事項として推進してまいります。

### 1 地域と小・中学校を通じた9年間の「学校・地域連携カリキュラム」の見直しと改善

○ 学校と地域の実態をもとに、学校運営協議会と地域教育協議会双方の仕組みを生かした「学校・地域連携カリキュラム」を創出し、共有の促進を図るとともに、社会に開かれた教育課程を編成する。今後、各中学校区で見直しと改善に向けた協議を主体的に推進していく。

### 2 地域資源を活用したふるさとを愛する心の育成

○ ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域に貢献する児童生徒を育成するため、学校、家庭、地域、産業界等が連携・協働した教育を推進し、多様な体験活動を行う。また、児童生徒の学校運営協議会等への積極的な参画や子どもの意見を取り入れた地域学校協働活動の推進を図る。

○ 学校の課題（例：不登校、学力向上等）や地域の課題（例：人口減少、地域行事の活性化等）を把握し、学校運営協議会等で協議（熟議）の機会を持つ。学校や地域をよりよくしていくためにはどうすればよいか協議し、学校運営の質の向上や地域の活性化につなげる。

### 3 「地域学校協働活動推進員」の資質向上及び連携強化に向けた研修機会の提供

○ 令和4年4月より委嘱された「地域学校連携活動推進員（令和3年度までは地域コーディネーター）」の方々が、これまで以上に地域学校協働活動の中心として活動できるよう、研修・情報交換の場を提供する。県の研修のみならず、本市独自の研修（地域学校協働活動推進員研修会）を主軸に機会提供に努める。

## お世話になります

佐々木スクールアドバイザーに代わって、今年度からコミュニティ・スクールや地域連携等を担当します中村達実です。国・県・市の考え方や各学校の取組など、さまざまな情報をお届けしたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

各学校・地域交流センター等の地域連携教育や特色ある取組・活動の情報をお寄せください。

スクールアドバイザー 中村達実 Tel:82-1188 E-mail: [samurai@edu.cty-so.jp](mailto:samurai@edu.cty-so.jp)